

2018.1 まちの語り ぶち★ きらり



ガーデニングサークルのメンバー

ガーデニングサークル

安岡地区の住宅地の中に広がる緑の空間。下関市には誰でも無料で入園できる「園芸センター」があるのをご存知ですか。

今回は、センター内で花壇の除草や花がら摘み、催し物・展示の手伝いをして「ガーデニングサークル」を紹介します。

植物が作る笑顔の輪

平成10年に発足したこの会は、現在は34人(男性5人、女性29人)で活動しています。市内の方を中心に、美祿市から来る人もいます。メンバーは、センターで講習を受け、もっと知識を付けたい、園芸を楽しみたいという植物を愛する人ばかり。

同サークルは、園芸作業を通じて、会員同士の親睦を図りながらガーデニングのノウハウの向上と、幅広くガーデニングを楽しむ会です。

取材に伺った日は、クリスマス展示の作業中でした。手際よく必要な資材を展示会場に運び入れます。男性女性関係なく、重たい物で



もっと知りたい園芸のこと

会長の中野さんも、4年前にセンターのバラの講習会を受けて、「もっと園芸のことを知りたい」と、サークルに入った一人です。

ほんの少しの興味ときっかけがたくさん知識と生活の充実につながります。緑のある生活が心を豊かにすることはもちろんのこと、植物を通じて知り合った仲間との出会いは、人生をもっと豊かにしてくれるのだと皆さんの笑顔が物語っていました。

元気をもらおう「お互いさま」

植物を育てるために大切なことは、「草取り・剪定・観察」です。毎日見ていると、ちょっとした変化に気が付き、病気などを未然に防ぐことができます」と中野会長。

同サークルの講師も務めている園芸センターの吉田職員は、「植物に話し掛けることで、周りの空気が循環し、二酸化炭素で植物が元

気になります。人も、声を出すことで、元気になります。互いに良い関係を築けるんですよ」と話します。

緑の発信基地 花育の場

寒い季節になって、多くの種類の花を見ることは難しいですが、センターには温室(熱帯果樹園)があり、一般家庭では見ることのできないバナナや、パイナップルの果実が実り、まるで熱帯の国にきた雰囲気味わうことができます。大温室では12月下旬ごろはカエンカスラのオレンジの花のシャワーが迎えてくれます。

人気の多肉植物もたくさんあり「比較的、簡単に世話のできる多肉植物は園芸初心者にもおすすめです」と吉田職員。

年間通じていつ来ても楽しめるように魅力的な物を作っているみたい。園内の植物を守っているガーデニングサークルは、園芸センターを緑の発信基地、花育の場として、これからも楽しんで活動していきます。

園芸センター
市内富任町五丁目7番1号
☎258-0147

